

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度第 1 回東松山市農業振興対策協議会					
開 催 日 時	令和 7 年 8 月 2 5 日（月）			開 会	午後 2 時 3 0 分	
				閉 会	午後 3 時 5 0 分	
開 催 場 所	東松山市総合会館 3 階 3 0 2 会議室					
会 議 次 第	1 開 会					
	2 あいさつ					
	3 諮 問					
	4 議 題					
	(1)第二次東松山市農業振興基本計画について					
	(2)第二次東松山市農業振興基本計画策定スケジュールについて					
	5 そ の 他					
	6 閉 会					
公開・非公開の別	公 開		傍 聴 者 数		2 人	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	根 岸 富 夫	欠席	委 員	須賀 昭雄	欠席
	委 員	稲 葉 操	欠席	委 員	森屋 弘一	出席
	委 員	福 島 秀 幸	欠席	委 員	松本 創一	出席
	委 員	岸 澤 寛	出席	委 員	柳澤 誠一	出席
	委 員	三 井 倉 正 敏	出席	委 員	澤 田 陽 夫	欠席
	委 員	西 川 直 希	欠席	委 員	国 分 唯 史	出席
	委 員	松 本 禮 子	出席	委 員	利 根 川 清 久	欠席
	委 員	横 田 信 行	出席			
事 務 局	環境産業部 部長			江 口 功 一		
	環境産業部 次長			加 藤 充		
	農政課 課長			中 村 篤 志		
	農政課 副課長			鈴 木 康 之		
	農政課 生産振興室 室長			飯 塚 規 文		

次 第	発言者	概 要
1 開 会	事務局	開会宣言 委員出席状況の報告
2 あいさつ	事務局	三井倉職務代理者あいさつ 事務局職員紹介 配布資料確認
3 諮問	事務局	市長から三井倉職務代理者へ諮問 市長あいさつ 会議録署名委員に岸澤委員と松本禮子委員を指名 会議の公開及び傍聴者の有無について確認 傍聴者 2 名入室
4 議 題	事務局 岸澤委員 農政課	議題(1)第二次東松山市農業振興基本計画について説明（序章及び第 1 章） —質疑なし— 議題(1)第二次東松山市農業振興基本計画について説明（第 2 章） —質疑なし— 議題(1)第二次東松山市農業振興基本計画について説明（第 3 章及び第 4 章） 【質疑応答】 計画の中には「支援する」という言葉が多く出てきます。例えばスマート農業の取組に関して、具体的な支援はどういうことを考えていますか。 市単独で補助金等を交付するというような支援は難しいかもしれないと考えています。スマート農業に関しては、国や県の補助金もありますので、そういった情報を市で把握して、情報提供をすることや国や県に申請する際の支援等が考えられます。10 年後には現在よりも優れたスマート農業

		が出てきていると思いますので、市として、そういった情報をしっかり捉えていくことも大切だと考えています。
	岸澤委員	農業者は高齢者が多く、１０年先だと農業を継続できているか私自身もわかりません。１０年先に米作りがどうなっているか非常に心配しています。１０年後は田んぼが草だらけになっているかかもしれません。今年は水不足もひどい状況です。農政課や農協でも考えていただけているとは思いますが、１０年先を見据えていたら、遅いのではないかということも感じます。よろしくお願いいたします。
	松本創一委員	今の岸澤委員の意見を受けてお聞きします。農業水利施設の補修・更新等について、予算はないのでしょうか。
	農政課	農業水利施設の保守・修繕に関しては、土地改良区や水利組合が実施する工事等について、市が６割の金額を補助させてもらうという制度があります。また、多面的機能支払交付金というものがありまして、こちらを活用すると１０分の１０の補助、地元の負担なしで改修等が可能となりますので、市と土地改良区で相談しながら進めています。これらの補助金については、今後も継続していきます。
	松本創一委員	農業水利施設の維持は、現在の予算規模で維持することはできるのでしょうか。
	岸澤委員	上用水堰土地改良区ですと、土地改良区で行っている部分と、多面的機能支払交付金を活用して保全会で行っている部分と両方があります。業者に頼むと１００ｍのＵ字溝工事をするのに、５０

		0万円以上必要になります。自分たちで行うことで工事費が半値ほどになりますので、素人工事にはなってしまいますが上用水堰土地改良区ではそのような形で維持しているのが実態です。
	松本創一委員	自分たちでやることで、コストを抑えているという話でしたが、今後は自分たちで行うことも難しくなってくるのではないのでしょうか。
	岸澤委員	おっしゃるとおりで、自治会でも草刈りをしたり、泥上げをしたりということもあるのですが、高齢者が増えており中々厳しい状況にあります。 土地改良区は皆さんから賦課金を頂いた中で運営していますが、上用水堰土地改良区の賦課金の予算として、年間300万円しかありません。 市の補助金、土地連の補助金など、補助率の良いものをなるべく活用していますが、資材費や人件費も高騰していて、工事を進めていたところも、全部はできないような状況です。
	松本創一委員	私は畑作がメインですが、農業を維持していくに当たり、農業用施設の現状であったり、耕作者の現状であったり、何が必要で、何を優先していかなくちゃいけないかということをもっと具体的に詰めていく必要があると考えます。
	岸澤委員	稲作を始めようとしたら、トラクター、コンバイン等が必要になります。先日、展示会にいきましたが非常に高額でした。ゼロから稲作を始めることは非常に困難だと思います。
	松本創一委員	稲作については、新規で参入する障壁が非常に高いと考えます。稲作を維持していくためには、無理をしてでも新しい担い手をサポートしていくことが必要ではないのでしょうか。

	岸澤委員	最終的には企業が参入してくるのかなと考えています。個人で参入するには初期投資に必要となる額が大きすぎます。
	森屋委員	今、お話があったのは、水路等の整備が進んでいる市南部の話だと思います。私が農業している市北部の大岡地区では、ため池農業なわけですが、やはり後継者がおらず、90歳で農業をやっている方もおります。 18ページに「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システムが日本農業遺産として認定され」と記載がありますが、具体的な今後の活用等については記載がありません。何故でしょうか。
	農政課	御指摘のとおり施策の展開のところでは記載がありません。どこに書くべきか、どのように記載するべきか、今後検討いたします。
	森屋委員	日本農業遺産として認定されましたが、個人的には、ため池農法に悲観的です。市南部は、川を利用して稲作を行っていますが、市北部の大岡地区はため池、沼の水で稲作を行っています。今年は水不足で本当に大変でした。これだけ気候が変わってきていますので、今後も、高温、水不足は続いていくでしょう。このような状況が続くとなると、日本農業遺産であったとしても、いつまでため池による農業が維持できるか不透明です。逆に、計画には記載しないほうが良いのではないかと考えるところです。 議題(2)第二次東松山市農業振興基本計画について説明 —質疑なし—

5 そ の 他	農政課	なし
6 閉 会	農政課	閉会宣言
上記会議の概要を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和7年9月24日 署名委員 <u>岸澤 寛</u> 署名委員 <u>松本 礼子</u>		